

上場会社名 コカ・コーラウエスト株式会社
 コード番号 2579 URL <http://www.ccwest.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉松 民雄
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 鶴池 正清 TEL 092-641-8585
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績（平成25年1月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	327,218	10.4	13,302	27.2	14,017	34.0	15,832	251.2
24年12月期第3四半期	296,400	△3.1	10,457	△21.0	10,460	△20.2	4,507	△25.7

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 17,941百万円 (276.8%) 24年12月期第3四半期 4,761百万円 (△2.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	150.10	—
24年12月期第3四半期	45.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	374,618	259,546	69.2
24年12月期	337,348	231,056	68.4

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 259,177百万円 24年12月期 230,676百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	20.00	—	21.00	41.00
25年12月期	—	20.00	—		
25年12月期(予想)				21.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	440,600	14.0	17,800	32.2	17,900	29.3	17,700	193.5	166.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) 南九州コカ・コーラボトリング株式会社、除外 1社 (社名) -

(注) 詳細は、〔添付資料〕P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、〔添付資料〕P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期3Q	111,125,714株	24年12月期	111,125,714株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	1,981,547株	24年12月期	11,155,261株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	105,475,094株	24年12月期3Q	99,971,356株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって業績予想とは大きく異なる可能性があります。なお、平成25年12月期の業績予想に関する事項につきましては、〔添付資料〕P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

目 次

頁

添付資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出環境の改善や各種政策の効果発現などにより回復傾向にあります。海外経済の下振れ懸念が残るなど、依然として先行きが不透明な状況で推移いたしました。

清涼飲料業界におきましては、最盛期である夏場の記録的な猛暑などにより市場成長はプラスとなったものの、消費環境のデフレ改善の遅れに伴う低価格化の継続により、引き続き厳しい状況で推移しております。この現状に対応すべく、清涼飲料各社においては組織再編等を実施しております。

このような経営環境の中、当社グループは、「長期経営構想2020」の第1ステップ「革新と成長の3年」の最終年である平成25年の経営方針を、『チェーンストアチャンネルの売上高目標ならびにベンディングチャンネルのVPM（自動販売機1台当たりの販売数量）および自動販売機純増台数の目標を必ず達成する』、『物流プロセス改革とサービスモデル最適化の全面展開を必ず成功に導き、磐石な経営基盤を確立する』こととし、それによって経営目標を達成するとともに、将来に亘って成長を続け、収益力を高める基盤づくりを進めております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績の状況は、次のとおりであります。

<売上高>

清涼飲料事業においては、平成25年4月1日付で株式交換により南九州コカ・コーラボトリング株式会社を完全子会社化したことにより、売上高は、前第3四半期連結累計期間に比べ302億7千8百万円増加し、2,993億2千4百万円（前年同期比11.3%増）となりました。ヘルスケア・スキンケア事業においては、主に基幹商品の販売が好調であった影響等により、売上高は、前第3四半期連結累計期間に比べ5億3千9百万円増加し、278億9千3百万円（同比2.0%増）となりました。これにより、セグメント合計の売上高は、前第3四半期連結累計期間に比べ308億1千8百万円増加し、3,272億1千8百万円（同比10.4%増）となりました。

<営業利益および経常利益>

清涼飲料事業においては、上述した新規連結会社の影響に加え、グループを挙げて取り組んでいるコスト削減等により、営業利益は、前第3四半期連結累計期間に比べ32億1千9百万円増加し、93億6千万円（同比52.4%増）となりました。一方、ヘルスケア・スキンケア事業においては、積極的な広告宣伝費の投下等により、営業利益は、前第3四半期連結累計期間に比べ3億7千4百万円減少し、39億4千2百万円（同比8.7%減）となりました。これにより、セグメント合計の営業利益は、前第3四半期連結累計期間に比べ28億4千5百万円増加し、133億2百万円（同比27.2%増）となりました。また、営業利益の増加に加え、持分法による投資利益が増加したことなどにより、経常利益は、前第3四半期連結累計期間に比べ35億5千6百万円増加し、140億1千7百万円（同比34.0%増）となりました。

<四半期純利益>

経常利益の増加に加え、南九州コカ・コーラボトリング株式会社を連結対象にしたことに伴い、当第3四半期連結累計期間において負ののれん発生益144億3千8百万円を特別利益に、段階取得に係る差損55億6千7百万円を特別損失に計上したことなどにより、四半期純利益は、前第3四半期連結累計期間に比べ113億2千4百万円増加し、158億3千2百万円（同比251.2%増）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、事業内容をより適正に表示するため、従来の「健康食品事業」のセグメント名称を「ヘルスケア・スキンケア事業」に変更しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ372億6千9百万円増加し、3,746億1千8百万円（前連結会計年度比11.0%増）となりました。これは主に、平成25年4月1日付で株式交換により南九州コカ・コーラボトリング株式会社を完全子会社化したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ87億7千9百万円増加し、1,150億7千1百万円（同比8.3%増）となりました。これは主に、上述した新規連結会社の影響によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ284億9千万円増加し、2,595億4千6百万円（同比12.3%増）となりました。これは主に、株式交換に伴う自己株式の減少によるものであります。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況等につきましては、次のとおりであります。なお、株式交換により南九州コカ・コーラボトリング株式会社を完全子会社化したことにより、54億7千7百万円の現金及び現金同等物を受け入れております。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは、341億円の収入（前年同期197億3千5百万円の収入）となりました。たな卸資産および仕入債務の増減による運転資金の支出が75億5百万円減少したことなどにより、当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間に比べ143億6千4百万円の増加となりました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、254億3千6百万円の支出（前年同期102億7千6百万円の支出）となりました。有価証券の取得および定期預金への預入による支出が125億9千9百万円増加したことなどにより、当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間に比べ151億6千万円の減少となりました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは、80億7千7百万円の支出（前年同期70億5千6百万円の支出）となりました。上述した新規連結会社の影響により、リース債務の返済による支出が増加したことなどにより、当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間に比べ10億2千1百万円の減少となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ60億6千3百万円増加し、455億5千8百万円（前年同期比23.2%増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

清涼飲料業界におきましては、消費者ニーズの多様化や節約志向などの影響を受け、販売チャネルの変化や競合他社との販売競争の激化が継続しており、当社グループを取り巻く環境は厳しさを増しております。

このような環境において、当社グループは、将来に亘って成長を続けていくため、グループ内で保有している機能の見直しを行い、機能の集約・再配置による業務品質の向上ならびに収益基盤の強化を図る構造改革を実施いたします。加えて、グループ外に活躍の場を求める社員に対して、希望退職の募集を行うことを決定いたしました。

（詳細は、本日発表の「グループにおける構造改革の実施と希望退職者の募集について」をご参照ください。）本件に関する転籍一時金等の費用を平成25年12月期決算において特別損失として計上する予定であります。現時点では未確定であるため、通期の業績予想につきましては、平成25年7月26日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。今後、業績予想数値について修正の必要が生じた場合は速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成25年4月1日付の株式交換により持分法適用関連会社であった南九州コカ・コーラボトリング株式会社を完全子会社化し、同日以降、同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ・会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更（減価償却方法の変更）

第1四半期連結会計期間より、法人税法の改正に伴い、平成25年1月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）および販売機器以外の有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来と同一の方法によった場合と比較して、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ236百万円増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、「3. 四半期連結財務諸表 (6) セグメント情報等」に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,157	33,298
受取手形及び売掛金	23,472	28,891
有価証券	30,702	33,820
商品及び製品	24,226	24,324
仕掛品	472	679
原材料及び貯蔵品	1,662	3,265
その他	18,131	18,543
貸倒引当金	△414	△446
流動資産合計	120,411	142,377
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,259	36,486
機械装置及び運搬具（純額）	18,487	26,007
販売機器（純額）	20,727	26,520
土地	52,208	60,100
建設仮勘定	2,245	39
その他（純額）	1,826	1,890
有形固定資産合計	127,754	151,044
無形固定資産		
のれん	44,723	42,851
その他	5,190	6,415
無形固定資産合計	49,914	49,267
投資その他の資産		
投資有価証券	25,738	17,478
前払年金費用	4,729	4,954
その他	9,277	9,961
貸倒引当金	△476	△466
投資その他の資産合計	39,268	31,928
固定資産合計	216,937	232,240
資産合計	337,348	374,618

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,502	18,244
1年内返済予定の長期借入金	2,517	2,517
未払法人税等	3,006	2,568
未払金	14,630	16,146
販売促進引当金	173	197
その他	6,156	10,863
流動負債合計	40,988	50,538
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	7,755	5,242
退職給付引当金	947	1,968
役員退職慰労引当金	130	142
その他	6,470	7,180
固定負債合計	65,303	64,533
負債合計	106,292	115,071
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,231	15,231
資本剰余金	109,072	109,072
利益剰余金	132,587	137,826
自己株式	△25,765	△4,576
株主資本合計	231,125	257,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△449	1,700
繰延ヘッジ損益	—	△77
その他の包括利益累計額合計	△449	1,623
少数株主持分	380	368
純資産合計	231,056	259,546
負債純資産合計	337,348	374,618

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	296,400	327,218
売上原価	150,088	163,763
売上総利益	146,312	163,455
販売費及び一般管理費	135,854	150,152
営業利益	10,457	13,302
営業外収益		
受取利息	61	80
受取配当金	158	181
持分法による投資利益	123	992
その他	402	371
営業外収益合計	746	1,625
営業外費用		
支払利息	473	455
固定資産除却損	157	157
その他	112	298
営業外費用合計	742	911
経常利益	10,460	14,017
特別利益		
負ののれん発生益	—	14,438
特別利益合計	—	14,438
特別損失		
減損損失	—	1,008
災害による損失	39	—
固定資産除却損	—	122
投資有価証券評価損	170	—
品質問題対策損失	611	—
経営統合関連費用	—	92
段階取得に係る差損	—	5,567
特別損失合計	821	6,791
税金等調整前四半期純利益	9,639	21,664
法人税、住民税及び事業税	2,770	3,525
法人税等調整額	2,337	2,270
法人税等合計	5,108	5,795
少数株主損益調整前四半期純利益	4,530	15,868
少数株主利益	22	36
四半期純利益	4,507	15,832

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,530	15,868
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	227	2,150
持分法適用会社に対する持分相当額	3	△77
その他の包括利益合計	230	2,072
四半期包括利益	4,761	17,941
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,738	17,905
少数株主に係る四半期包括利益	22	36

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,639	21,664
減価償却費	15,324	17,553
減損損失	—	1,008
のれん償却額	1,982	1,987
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	15	12
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△35	223
前払年金費用の増減額 (△は増加)	900	△225
受取利息及び受取配当金	△219	△261
支払利息	473	455
持分法による投資損益 (△は益)	△123	△992
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	170	—
固定資産売却損益 (△は益)	6	△3
固定資産除却損	111	215
負ののれん発生益	—	△14,438
段階取得に係る差損益 (△は益)	—	5,567
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,550	△1,411
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,094	2,976
その他の資産の増減額 (△は増加)	695	236
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,162	1,272
その他の負債の増減額 (△は減少)	858	1,068
その他	104	678
小計	24,097	37,587
利息及び配当金の受取額	216	244
利息の支払額	△370	△349
法人税等の支払額	△4,225	△3,973
法人税等の還付額	17	591
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,735	34,100
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△16,215	△25,232
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	23,911	21,315
固定資産の取得による支出	△17,456	△16,116
固定資産の売却による収入	305	12
子会社株式の取得による支出	—	△128
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	553	—
関連会社株式の売却による収入	—	6
長期貸付けによる支出	△346	△1,130
長期貸付金の回収による収入	344	495
定期預金の預入による支出	△1,765	△5,348
定期預金の払戻による収入	380	815
その他	11	△127
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,276	△25,436

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△2,538	△2,513
自己株式の取得による支出	△1	△3
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△4,098	△4,282
少数株主への配当金の支払額	△33	△35
その他	△384	△1,243
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,056	△8,077
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,403	585
現金及び現金同等物の期首残高	34,564	39,495
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	5,477
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,967	45,558

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成25年4月1日付の株式交換による南九州コカ・コーラボトリング株式会社の完全子会社化に伴う自己株式の交付により、当第3四半期連結累計期間において自己株式の処分差損が6,117百万円発生するとともに、自己株式が21,192百万円減少しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が137,826百万円、自己株式が4,576百万円となっております。

(6) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	清涼飲料事業 (百万円)	ヘルスケア・スキンケア事業 (百万円)	合計 (百万円)
売上高			
外部顧客への売上高	269,046	27,353	296,400
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	269,046	27,353	296,400
セグメント利益	6,140	4,316	10,457

(注) 売上高およびセグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上高および営業利益とそれぞれ一致しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	清涼飲料事業 (百万円)	ヘルスケア・スキンケア事業 (百万円)	合計 (百万円)
売上高			
外部顧客への売上高	299,324	27,893	327,218
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	299,324	27,893	327,218
セグメント利益	9,360	3,942	13,302

(注) 売上高およびセグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上高および営業利益とそれぞれ一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」に記載のとおり、平成25年4月1日付の南九州コカ・コーラボトリング株式会社の完全子会社化に伴い、同日以降、同社およびその子会社5社を連結の範囲に含めております。その影響等により、清涼飲料事業における当第3四半期連結会計期間末の報告セグメントの資産の金額は、前連結会計年度末に比べ、39,135百万円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(名称の変更)

第1四半期連結会計期間より、事業内容をより適正に表示するため、従来の「健康食品事業」のセグメント名称を「ヘルスケア・スキンケア事業」に変更しております。

(減価償却方法の変更)

「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、法人税法の改正に伴い、平成25年1月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)および販売機器以外の有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来と同一の方法によった場合と比較して、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が「清涼飲料事業」で233百万円、「ヘルスケア・スキンケア事業」で2百万円増加しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

清涼飲料事業において、平成24年から実行している「ビジネスモデルの8つの変革」に伴い、さらなる営業・販売機能の強化と生産性の向上を図るべく、物流プロセス改革に取り組んでおりますが、その一環として、販売・物流拠点を再編、統廃合することとし、対象拠点の建物及び構築物、土地等の固定資産につきまして、帳簿価額を回収可能価額まで減額いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間において、1,008百万円の減損損失を計上しております。

(重要な負ののれん発生益)

清涼飲料事業において、平成25年4月1日付の南九州コカ・コーラボトリング株式会社の完全子会社化に伴い、当第3四半期連結累計期間において、14,438百万円の負ののれん発生益を計上しております。